

届け 世界の果てまでも

令和2年12月23日

No. 56

文責 校長 飯久保一男

カッコイー冬休みを

明日から冬休みです。子どもたちにとっても、また、各家庭にとっても、有意義で素晴らしいものになることを願っています。夏休み前にもお願いをしましたが、何より安全と健康が大切です。家庭での生活が中心となりますので、ご指導をお願いします。

2学期終業式での校長の話の概要です。



<前半は行事への取り組みや、各学年や児童会の2学期のがんばりなどを称える話をしました。割愛します。>

さて、明日から冬休みです。安全で健康に過ごす、カッコイー冬休みにしてほしいと思います。そのために今回も、出会ってほしい怪獣、出会ってほしくない怪獣を紹介します。



まず、出会ってほしい怪獣です。【ハタラクダ】といいます。冬休みには、大掃除を始め、家族でやるいろいろなことがあると思います。家族の一員として家族の役に立つ人は出会える怪獣です。冬休みだからといって、寝坊したり、夜更かしをしたり、親に言われてもやらなかったり、文句を言ったりしている人は出会えません。進んで働いてください。...

1月4日から「耐寒ラジオ体操」も行われます。参加できる人はカッコイーなあと思います。



次は、出会ってほしくない怪獣です。何度も見せています【コウツウジゴラ】です。いつも小笠原小地区を車で通っている人は、ここは子どもがいる道だと分かっている、気を付けて運転をしてくれています。ところが、年末や年始は、小笠原小地区に住んでいない人もやってきます。普段は、このあたりを通らない人も車で通ります。十分な注意が必要です。この怪獣に絶対に会ってはいけません。



次も見せたことがある【フシンシャーク】です。夕方は早く暗くなります。早めに家に帰ること、1人で出歩かないことを約束してください。もし、出会ってしまったときは、「〇〇のおすし」です。また、夏休み前にも言いましたが、子どもだけで家にいるときに、人が訪ねて来たり電話が鳴ったりしたときにどうしたらいいか、各家庭で話し合っって約束を決めてください。



最後に、お金をたくさん持つ機会である冬休みに出会ってしまう人がいるかもしれない怪獣です。【ムダツカイ】といいます。お金のつかい方も家の人と相談し、無駄づかいにならないようにしてください。お正月は小学生がたくさんお金を持っていることを多くの人が知っています。中にはそれをねらっている人もいるかもしれません。

今、日本中でコロナウイルスに感染する人がまた増えています。まず、コロナウイルスへの対策を確実にしてください。そして、自分の安全は自分で守って、安全で健康で、楽しい冬休みしてください。

ある30代の夫婦と2人の兄弟の4人家族の話。

兄弟は10歳と8歳の家族なのだが、10歳の兄は重度の食物アレルギーをもっていて、食べ物を好みに食べられなかった。

ある日、弟が泣きながら帰ってきた。母親は驚いて理由を聞くと

「僕だけファミレスに行ったことがないからって仲間外れにされた。」

とのことだった。兄の食物アレルギーのため、弟はファミレスどころか、外食もしたこともなかった。それを聞いてショックを受けた母親は、父親と相談して、弟を一度ファミレスに連れて行くことに決めた。

そしてある日、家族4人でファミレスに行った。母親は注文をとりにきた店員に

「日替わりランチ2つとお子様ランチを1つください。」

と頼んだ。店員は

「お子様ランチは1つですか？」

と尋ね返した。母親は

「はい。1つでお願いします。下の子がファミレスに行ったことがないとクラスでからかわれてしまっ…一度ぐらい連れてきてあげてもいいんじゃないかと思って連れてきたんです。と言うのも、上の子が食物アレルギーで食べるものを制限されているんです…。それでも子どもたちにはできるだけ不自由な思いはさせたくないと思って連れてきました。そして、さらに…、失礼なお願いなのですが、上の子には家から持ってきた、これをここで食べさせてもかまわないでしょうか？」

と、母親は、食材の入ったタッパーを取り出した。ファミレスに食べ物を持ち込むということは、店側の衛生管理上、ダメかもしれない、ここで断られたらどうしようと、母親はひそかに思っていたのだった。店員は

「そうですか…。」

と言った後

「私にそのタッパーを渡してください。」

と伝えた。母親は、やっぱりダメか、と落胆しながら店員にタッパーを渡した。

しばらくして、両親が頼んだ日替わりランチと、国旗が付いている弟のお子様ランチが出てきた。弟は大喜びしたが、両親は素直に喜ばなかった。しかし、次の瞬間、もうひとつの料理が出てきたのだった。それはまぎれもなく、あのタッパーの中の料理だった。きれいに盛り付けされ、真ん中には国旗が付いていた。

「はい、これがお兄ちゃんのお子様ランチだよ。」

その店員の思いがけない言葉と嬉しそうに喜んでいる兄弟の姿を見て、両親は涙が止まらなかった。

<涙がでるほど綺麗ないい話>より



2学期も本通信をお読みいただきありがとうございました。

3学期も懲りずに配付しますので、ご一読ただければ幸いです。

ご感想・ご意見なども、担任を通してお寄せいただけたら幸いです。

お名前がわかる形でお願いします。いただいた感想などは、お名前を出さずにこの紙面に掲載していきたいと思っています。

よいお年をお迎えください。